

第 3 回オープンビッククラス全日本選手権 2014

(The 3rd O'pen BIC Class Japan National Championships 2014)

主催	日本オープンビッククラス協会 (JOBCA)
公認	(公財)日本セーリング連盟 (JSAF) (承認番号 H26-44)
後援	NPO 法人兵庫県の水域の秩序ある利用を進める会、神戸新聞
協力	(株)ウインドワード
協賛	(株)JIB、ビックスポーツ(株)、ラ・サラ(株)、Aqua L Style, hotel Allamanda、ヤシママリンサービス(株)、ART HOUSE bz、(株)フォーチュン、たかみ歯科医院
大会期日	2014 年 11 月 8 日(土)～11 月 9 日(日)
開催地	兵庫県西宮市西波止町 1-2 西宮マリーナ ウインドワードオーシャンクラブ

帆走指示書

1. 規則

本大会は、次の優先順位に従い下記の規則を適用する。

- 1.1 本レガッタには「セーリング競技規則」に定義された“規則”を適用する。
- 1.2 クラス規則に定義された「オープンビック標準大会規則2012 (O'pen BIC Standard Event Rules 2012)」を適用する。
- 1.3 パンピングは、プレーニングまたはサーフィングが可能なコンディションを除き、許可しない。レース委員会は可能なコンディションの場合は“O旗”を掲揚する。
- 1.4 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、本帆走指示書が優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、スキッパー・ミーティングにて説明し、公式掲示板に掲示する。
- 3.2 水上において帆走指示書を変更する場合がある。この場合はレース委員会信号艇に L 旗を掲揚し、口頭または掲示板にて各艇に伝達する。

4. チャーター艇

- 4.1 チャーター艇が準備される。競技者は、次のことを除き、どのような方法であっても、改造してはならず、また改造するような原因を作ってはならない。
 - (a) 糸を含む風向計を艇のどこにでも結びつけたり、テープで貼り付けたりしてもよい。
 - (b) 艇体、センターボードおよびラダーを水のみで洗ってよい。
 - (c) 接着テープを喫水線より上のどこにでも用いてよい。
 - (d) クラス規則に従っている限り、調整できるように作られた全ての艀装品または装備を調整してよい。
- 4.2 帆走のために艇と共に準備された全ての装備は、海上にいる間、艇内になければならない。
- 4.3 上記の指示に 1 つでも従わない場合のペナルティーは、指示に違反して帆走した全てのレースで失格とする場合もある。
- 4.4 競技者は、わずかであったとしても、装備の損傷または紛失を、艇を乗り換える際または艇を着岸後、直ちにレース委員会に報告しなければならない。この指示違反のペナルティーは、競技者がこれに従うために明らかな努力をしたとジュリーが納得した場合を除き、直前のレースを失格とする。
- 4.5 艇が損傷した場合の修理費用は選手が負担しなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。
- 5.2 AP 旗が、陸上で掲揚された場合、レース信号 AP 旗の「1 分」を「30 分以降」と置き換える。

6. レース日程

- 6.1 11 月 8 日(土)

09:00~09:30	大会受付
09:30~09:40	開会式
09:40~10:00	スキッパー・ミーティング
10:55	最初のレースのスタート予告信号時刻
16:00~	レセプション
11月9日(日)	
09:00~09:20	スキッパー・ミーティング
10:15	最初のレースのスタート予告信号時刻
15:00~	表彰式・閉会式

- 6.2 本大会は 10 レースを予定する。1 日に行うレース数は最大 6 レースとする。
6.3 すべてのディヴィジョンを同一レースで行う。

7. クラス旗 クラス旗は、O'pen BIC 旗を用いる。

8. レースエリア 付属図 A(レースエリア)にレースエリアの位置を示す。

9. コース

9.1 コース

付属図 B(コース)は O'pen BIC のレース中に予測されるコースの形態を示している: Speed(スピード)、Speed Slalom(スピード・スラローム)、O'pen Cross(オープン・クロス)(必須の 360°回転、転覆、フリースタイル動作を含む)、または異なる場所を結ぶ Adventure Races(冒険レース)。これらのコースは単なる例であり、各レースの最終的なコースは当日、スキッパー・ミーティングの間に紹介される。

9.2 冒険レースを除き、フリートの間が各レースを 20-25 分でフィニッシュすると予測する。

10. マーク

10.1 回航マークはオレンジの球形のブイである。

10.2 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇とポートの端にあるオレンジの球形のブイである。

10.3 フィニッシュ・マークは、レース委員会艇とオレンジの球形のブイである。

11. スタート

11.1 レースは、RRS 規則 26(レースのスタート)を使用してスタートする。

11.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとポートの端にあるスタート・マークのコース側との間とする。

11.3 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13. タイム・リミット

先頭艇が帆走指示書に定めるコースを帆走してフィニッシュ後、10 分以内にフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった」と記録される。

14. ペナルティー・システム

14.1 抗議は受け付けない。O'pen BICは水上で解決し、プロテスト・ルームでは行わない。

14.2 オン・ザ・ウオーター・ジュリーは“ペナルティー旗(黄色旗)”を採用する。

14.3 ペナルティーを侵したと現認された艇は、セール番号を特定され、ペナルティー旗を示される、そして1回の360°回転(どんな順序でも1回のタックとジャイブ)を含むペナルティー回転をするよう求められる。最初の安全な機会に、このペナルティーを履行しなかった場合はそのレースで失格となる。

14.4 これらの基本的な規則の繰り返しの違反、またはジュリーによって“危険”とみなされるセーリングは、レガッタから排除される結果となることもある。

14.5 もしルールについてははっきりとわからないか、説明してもらい必要がある場合、セーラーは、実際のレースが進行している外側でいつでも、ジュリーに近づいてもよい。ジュリーの判決は最終である。

14.6 真に公正な競技精神のもとに、セーラーは自身でセーリングを制御することを求められている。すなわち、もしこの簡単な規則の一つに違反したとわかったならば、その時は違反がジュリー・ボートに見られたかどうかに関係なく、ペナルティー回転をするのがよい。

15. 各シリーズの得点

- 15.1 RRS 付則 A の低得点方式を適用する。
- 15.2 4 レース以上が完了した場合、艇のシリーズ得点は、もっとも悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 15.3 各ディヴィジョン(U16,U13,OPEN)の順位は、レース得点をディヴィジョン別に「再計算」し決定する。
- 15.4 最多ファースト・ホームは、第 1 位のレース数の合計とし、多いものから順位をつける。合計がタイの場合、タイトなった艇の最後のレースの得点で順位をつける。
- 15.5 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。

16. 安全規定

- 16.1 競技者は、海上においては個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。
- 16.2 レース委員会またはジュリーは、競技者が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命ずることができる。この措置に対する救済要求はできない。
- 16.3 主催団体は競技者にビブ(シングレット)の着用を指示することがある。ビブ(シングレット)は主催団体が提供する。

17. 装備の交換

損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の適切な機会にレース委員会に行わなければならない。

18. 責任の否認

このレガッタの競技者は完全に自分自身の責任で参加する。主催団体は、大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

付属 A: 大会会場およびレースエリア



付属 B:コース図

